

## 「藤沢市DX推進計画」の改定について（中間報告）

### 1 計画改定の趣旨

本市では、制度や組織の在り方等をデジタル化に合わせて変革していく、社会全体におけるデジタル・トランスフォーメーション（DX）の流れに対応するため、令和4年4月に「藤沢市DX推進計画」を策定しました。この度、現計画の対象期間が令和7年度をもって終了することに伴い、これまでの間の社会情勢の変化や住民ニーズの多様化・複雑化を反映するとともに、最新の技術やソリューション等の知見を踏まえ、今後も一層の実効性を伴う取組を推進していく必要があることから、計画を改定するものです。

### 2 改定のポイント

#### （1） 計画の対象期間

現計画においては、国が令和2年12月に策定した「自治体DX推進計画」に沿って取組を進めるといった観点から、同計画に合わせた対象期間としておりましたが、現時点において国の計画の対象期間終了後の改定を含めた取扱いについては具体的に示されておりません。

また、本市の計画は、国の計画を参考にして策定されていますが、内容としてはあくまで本市独自の計画であり、改定後の計画についても同様に「藤沢市市政運営の総合指針2028」で掲げる「めざす都市像」を実現するための3つの「まちづくりコンセプト」のうちの1つである「最先端テクノロジーを活用した安全安心で暮らしやすいまち（スマート藤沢）」を具現化していくものであることから、改定後の計画の対象期間は同指針の期間に合わせて令和10年度までとします。

#### （2） 計画の認知を高める工夫

現計画は記述中心の文字が多い構成となっておりましたが、読み手である市民等の皆様にとってより見やすく分かりやすいものとするため、他市事例等を参考に図表等を多く用いて視認性及び可読性を高めた構成に変更しております。また、計画改定後は市民等の皆様に直接的に影響する箇所を抜粋した概要版も作成し公表するなど、本計画がより広く認知されるよう、周知方法を工夫して取り組んでまいります。

### **(3) 藤沢市スマートシティ基本方針との統合**

現計画の策定時点において、スマートシティ（都市のDX）については他市等の事例も参考にする中で取組項目が具体化されていなかったことから、計画の本編には詳細を記載せず、別途「藤沢市スマートシティ基本方針」を策定し、基本的な考え方等を示す中で柔軟かつ臨機応変に取組を進められる構成としておりました。しかしながら、その後は「Smart Fujisawa Project」を策定するなど、具体的な内容を定めた上で取組を進めていることから、改定後の計画においては同基本方針を統合した1つの計画として策定しております。

### **(4) 取組項目**

本年7月から8月にかけて実施した市民アンケートの結果に基づき（資料2参照）、現計画の対象期間において進めてきたこれまでの取組に対する評価を踏まえるとともに、この間の社会情勢の変化や住民ニーズの多様化・複雑化を反映し、改定後の計画の対象期間に取り組むべき項目を、市が主体的に取り組む行政のDX及びそれらを包含する都市のDXに分けて見直しました。

#### **ア 行政のDX**

（ア）オンライン手続きの拡充【どこでも】

（イ）一人ひとりに合わせた情報発信【ピッタリ】

（ウ）手続きの簡略化【簡単】

#### **イ 都市のDX**

（ア）デジタル技術を活用したい人の支援【ひと】

（イ）日々の生活におけるデジタル技術の利活用の推進【くらし】

（ウ）まちづくりにおける先進的なサービスの推進【まち】

## **3 藤沢市DX推進計画（改定案）**

資料3参照

#### 4 これまでの取組と今後のスケジュール（案）

令和7年 8月	計画改定に係る市民アンケートの実施
令和7年10月	改定素案に対する庁内意見照会の実施
令和7年12月	12月市議会定例会に計画改定について中間報告
令和8年 2月	2月市議会定例会に計画改定について最終報告
令和8年 4月	藤沢市DX推進計画の改定 市ホームページへの掲載等による市民周知

以 上

（企画政策部 デジタル戦略課）  
（市長室 共創推進課）